



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社 松屋フーズ  
 コード番号 9887 URL <http://www.matsuyafoods.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 丹沢 紀一郎

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	69,607	4.8	3,438	9.3	3,545	8.4	2,025	6.9
29年3月期第3四半期	66,419	6.4	3,791	46.8	3,871	47.4	2,174	81.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,023百万円 (4.1%) 29年3月期第3四半期 2,111百万円 (77.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	106.27	
29年3月期第3四半期	114.09	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	57,204	38,720	67.7	2,031.84
29年3月期	57,146	37,172	65.0	1,950.65

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 38,720百万円 29年3月期 37,172百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		13.00		13.00	26.00
30年3月期		12.00			
30年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 12円 00銭 記念配当 1円 00銭

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 12円 00銭 記念配当 1円 00銭

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,500	5.0	4,100	15.1	4,150	18.0	2,250	20.7	118.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 0 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	19,063,968 株	29年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	7,248 株	29年3月期	7,216 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	19,056,735 株	29年3月期3Q	19,056,873 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に一部持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復基調が続いています。

外食業界におきましては、食材価格や人件費の上昇、為替の変動等により経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、第二の主力業態であるとんかつ業態を中心に出店し、とんかつ業態24店舗、牛めし業態13店舗、その他業態7店舗(国内4店舗、海外3店舗)の合計44店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし業態店3店舗、その他業態1店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第3四半期連結会計期間末の店舗数はFC店を含め、1,120店舗(うちFC6店舗、海外10店舗)となりました。この業態別内訳としては、牛めし業態953店舗、とんかつ業態141店舗、鮪業態6店舗、その他の業態20店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、13店舗の改装(全面改装4店舗、一部改装9店舗)を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、『カルビ焼肉定食、キムカル井増量キャンペーン』、大創業祭として『プレミアム牛めし50円引きキャンペーン』『カルビ焼肉定食500円キャンペーン』、物販販売として『黒胡麻焙煎七味』『牛めし味ふりかけ』、事前メニューQRコード発行システムとして『松券セレクト』等を実施いたしました。また、新商品として「豚バラにんにく味噌定食」「選べる4種のチーズハンバーグ定食」「鶏の甘辛味噌定食」「ごろごろ煮込みチキンカレー」「厚切りポークソテー定食」「山形だしとろろプレミアム(小)牛皿セット」「うまトマハンバーグ定食」「肉野菜の鉄板焼き定食」「粗挽き肉と茄子の麻婆カレー定食」「鶏のバター醤油炒め定食」「旨辛豚カルビ定食」「テリヤキ月見ハンバーグ定食」「北欧風シチューハンバーグ定食」「鶏ささみステーキ定食」、健康志向メニューとして「定食のライスを湯豆腐に変更可能なサービス」「定食のライスをおろし豆腐に変更可能なサービス」等を導入いたしました。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比100.6%と前年を上回ったことに加え、前年度以降の新規出店等による売上増加分が寄与したこと等により、前年同期比4.8%増の696億7百万円となりました。

売上原価につきましては、食材の仕入単価変動等により、原価率が前年同期の31.5%から32.4%に上昇いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の62.8%から62.7%と改善いたしました。この要因は、アルバイト・パートの平均時給の増加等により、人件費の売上高に占める割合が前年同期の34.7%から35.0%と上昇した一方、売上高の増加により、人件費以外の経費の売上高に占める割合が、前年同期の28.1%から27.7%と改善したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト(売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト)の売上高比は、前年同期の66.2%から67.4%へと上昇いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比9.3%減の34億38百万円、経常利益は前年同期比8.4%減の35億45百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比6.9%減の20億25百万円となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は572億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円増加いたしました。このうち、流動資産は138億42百万円となり、繰延税金資産が2億56百万円減少した一方、原材料及び貯蔵品が4億57百万円増加したこと等によって、前連結会計年度末に比べ12百万円増加いたしました。また、固定資産は433億62百万円となり、新規出店による設備投資等によって、前連結会計年度末に比べ45百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は184億84百万円となり、短期借入金等が増加した一方、未払法人税等の減少、長期借入金の返済等によって前連結会計年度末に比べ14億88百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は387億20百万円となり、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ15億47百万円増加となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の65.0%から67.7%と向上しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月9日に公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	8,847,134	8,758,867
受取手形及び売掛金	578,694	742,852
商品及び製品	405,027	379,332
原材料及び貯蔵品	2,314,081	2,771,328
繰延税金資産	516,444	260,190
その他	1,167,877	929,686
<b>流動資産合計</b>	<b>13,829,260</b>	<b>13,842,257</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	14,150,840	14,563,547
機械装置及び運搬具(純額)	1,179,454	1,109,061
工具、器具及び備品(純額)	1,400,559	1,485,354
リース資産(純額)	2,121,472	1,847,245
土地	9,255,820	9,255,820
建設仮勘定	190,556	164,122
<b>有形固定資産合計</b>	<b>28,298,704</b>	<b>28,425,151</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	168,810	178,836
その他	67,980	34,247
<b>無形固定資産合計</b>	<b>236,790</b>	<b>213,083</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	66,633	67,886
敷金及び保証金	12,193,250	12,236,524
長期前払費用	468,375	454,353
店舗賃借仮勘定	131,462	119,430
繰延税金資産	958,267	886,654
投資不動産(純額)	606,920	597,428
その他	367,403	372,631
貸倒引当金	△10,718	△10,736
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>14,781,596</b>	<b>14,724,172</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>43,317,090</b>	<b>43,362,407</b>
<b>資産合計</b>	<b>57,146,350</b>	<b>57,204,665</b>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,657,666	1,932,804
短期借入金	208,517	2,089,056
1年内返済予定の長期借入金	2,928,664	2,681,216
未払金	3,453,508	3,537,957
リース債務	588,978	620,366
未払法人税等	1,513,571	610,874
賞与引当金	986,702	466,080
役員賞与引当金	—	1,082
資産除去債務	421	—
その他	1,191,295	1,363,242
流動負債合計	12,529,324	13,302,681
固定負債		
長期借入金	4,184,722	2,208,775
役員退職慰労引当金	581,100	581,100
リース債務	1,702,024	1,374,515
資産除去債務	770,795	818,230
繰延税金負債	11,478	11,237
その他	193,917	187,899
固定負債合計	7,444,037	5,181,758
負債合計	19,973,362	18,484,439
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	23,626,848	25,175,668
自己株式	△14,493	△14,626
株主資本合計	37,231,432	38,780,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	447	692
為替換算調整勘定	△58,892	△60,585
その他の包括利益累計額合計	△58,444	△59,892
純資産合計	37,172,987	38,720,225
負債純資産合計	57,146,350	57,204,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	66,419,953	69,607,029
売上原価	20,931,578	22,521,280
売上総利益	45,488,375	47,085,748
販売費及び一般管理費	41,697,238	43,647,583
営業利益	3,791,137	3,438,165
営業外収益		
受取利息	21,355	18,392
受取配当金	1,227	10,434
受取賃貸料	200,732	188,573
その他	132,339	135,003
営業外収益合計	355,654	352,403
営業外費用		
支払利息	66,240	45,149
賃貸費用	178,317	172,872
その他	30,403	27,417
営業外費用合計	274,961	245,439
経常利益	3,871,830	3,545,128
特別利益		
固定資産売却益	685	0
収用補償金	—	5,843
保険解約返戻金	6,907	—
その他	—	914
特別利益合計	7,592	6,758
特別損失		
固定資産除却損	27,049	4,357
店舗閉鎖損失	38,757	12,239
固定資産売却損	16,121	1,414
減損損失	48,710	54,368
和解金	25,303	1,034
その他	—	1,094
特別損失合計	155,942	74,508
税金等調整前四半期純利益	3,723,481	3,477,378
法人税、住民税及び事業税	1,242,982	1,124,621
法人税等調整額	306,239	327,519
法人税等合計	1,549,221	1,452,140
四半期純利益	2,174,260	2,025,238
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,174,260	2,025,238



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,174,260	2,025,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188	244
為替換算調整勘定	△63,395	△1,692
その他の包括利益合計	△63,206	△1,447
四半期包括利益	2,111,053	2,023,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,111,053	2,023,790
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月27日開催の定時株主総会及び平成29年10月31日開催の取締役会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第1四半期会計期間において、利益剰余金が247,737千円減少し、当第3四半期会計期間において利益剰余金が228,680千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月27日 定時株主総会	普通株式	247,737	13	平成29年3月31日	平成29年6月28日	利益剰余金
平成29年10月31日 取締役会	普通株式	228,680	12	平成29年9月30日	平成29年12月11日	利益剰余金

(注) 平成29年6月27日開催の定時株主総会決議による1株当たり配当額には、記念配当1円を含んでおります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。